

授業科目	災害医療・保健活動論	2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	長谷川 真澄 (保健医療学研究棟 E305 号) e-mail : m-hasegawa@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	青木亜砂子、森元隆文、根木亨、(根本昌宏)、(上村修二)、(田村周子)、(工藤篤志)、(北海道危機対策課)、他		
概要	近年、災害の頻度や規模が拡大し、被害も増大している。本科目は、災害の種類や特性、災害が人々の生活や健康に及ぼす影響を理解し、保健医療専門職として、被災者の医療、生活支援を行うために必要な基礎的能力を養う。また、避難所運営演習では避難所で起こる様々な課題への対処を模擬体験し、被災者の健康管理のあり方の理解を図る。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害の定義、種類および災害発生の状況と法律・制度の変遷を説明することができる。</li> <li>2. 災害サイクルおよびフェーズの特徴、疾病との関連を説明することができる。</li> <li>3. 北海道における災害の特徴を説明することができる。</li> <li>4. 災害サイクル各期における医療や健康管理活動とチーム連携について説明できる。</li> <li>5. 避難所運営について疑似体験し、避難所生活が健康に及ぼす影響とかかわる職種の役割について考察できる。</li> </ol>		
関連科目	救急医療総論、災害看護		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	レポート	70%	レポート：毎回の授業後のミニッツレポート提出状況(30%)、最終レポートの提出状況と記載内容(40%) 演習：参加態度、グループワークへの貢献度についてルーブリックによる評価
	演習	30%	
教科書	指定なし		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>①小井土雄一・石井美恵子編著 [2017] 「多職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力」 医学書院</li> <li>②大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会企画・編集 [2018] 「災害リハビリテーション標準テキスト」 歯葉出版</li> <li>③小原真理子監修 [2019] 「災害看護：心得ておきたい基本的な知識 改訂3版」 南山堂</li> <li>④榛沢和彦監修 [2018] 「別冊地域保健 いのちと健康を守る避難所づくりに活かす18の視点」 東京法規出版</li> <li>⑤日本医師会編 [2020] 「災害医療2020 大規模イベント、テロ対応を含めて」 メジカルビュー社</li> </ol>		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 災害および災害医療・保健活動の基本：災害の定義と分類およびその特性、災害発生の現状と活動の根拠となる法律・制度、災害サイクル・災害フェーズと疾病構造	事後：配付資料の復習、ミニッツレポート	講義	長谷川 青木
2	北海道における災害と災害時の活動の実際 積雪寒冷地の災害の特徴	事前：北海道の災害について調べる 事後：配付資料の復習、ミニッツレポート	〃	(根本)
3	災害発生時の医療活動とチーム連携	事後：配付資料の復習、ミニッツレポート	〃	(上村)
4	災害サイクルを通しての保健活動：災害時及び平常時の健康管理と地域の体制整備	事後：配付資料の復習、ミニッツレポート	〃	(田村)
5	災害時の健康管理1：被災住民の健康維持、障害者および高齢者の活動性の維持・改善	事後：配付資料の復習、ミニッツレポート	〃	(工藤)

6	災害時の健康管理2：災害時の心理変化とこころのケア	事後：配付資料の復習、ミニッツレポート	〃	森元
7	避難所の運営1：Doはぐ(避難所運営ゲーム北海道版)	事前：配付資料を読む	演習	(北海道危機対策課)・青木・森元・根木・長谷川
8	避難所の運営2：避難所ゾーニング	事後：レポート課題	〃	〃